

例会報告：2016年11月8日（曇り） 第1956回 通常例会

◆ 会員誕生日

一寸木 芳行さん（10月27日）
守屋 善男さん（10月30日）

◆ 結婚記念日

本多 純二さん（11月4日）
守屋 善男さん（11月5日）
安藤 克己さん（11月8日）



◆ ニコニコ箱
一寸木 芳行 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
11月8日分	27,000	343,625	1,200,000

河野 美栄子様・友美子様…この度は河野秀雄の通夜並びに参列いただき誠に有難うございました。お手伝いにも多数の方がたご尽力いただき、感謝申し上げます。

* 会員誕生日

守屋 善男さん…誕生日祝い有難う御座います。（72歳）
一寸木 芳行さん…誕生日のお祝いありがとうございます。

* 結婚記念日

本多 純二さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。42年位になるかな、忘れてました。何かしなければ。それにしても、良く続いているなアア。
守屋 善男さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。（48回目）家内ともども健康に気を付けて日々過ごしております。

安藤 克己さん…結婚記念日祝っていただきありがとうございます。

* その他

木村年度執行部…先日、前年度の執行部の打ち上げ旅行をしました。とても楽しかったので、ニコニコします。

■ 職業奉仕委員会を開催しました

日時：11月8日 18：00～
場所：食の壺



■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■
-2016年11月-

- ▶16日(水) 小田原北
- ▶17日(木) 小田原中 報徳会館 12：30
- ▶18日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶18日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話：社会奉仕」
- ▶21日(月) 小田原 報徳会館 12：30
「クラブ協議会：ガバナー公式訪問」
- ▶22日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30
- ▶23日(水) 小田原北
- ▶24日(木) 小田原中 報徳会館 17：30
「定例年次総会・クラブ協議会」
- ▶25日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶25日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話：留学生による卓話」
- ▶28日(月) 小田原 報徳会館 12：30
「卓話：プログラム委員会」
- ▶29日(火) 箱根 休会
- ▶30日(水) 小田原北

-2016年12月-

- ▶1日(木) 小田原中 報徳会館 17：30
- ▶2日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶2日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「クラブ協議会：年次総会・次年度理事・役員選出」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30
 クラブ会報委員会
 監修：櫻井 康二
 編集長：小林 和彦
 コピーライター：小林 和彦
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：大川 久弥

会員数：38名

国際ロータリー第2780地区

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2016-2017
WEEKLY BULLETIN

小田原城北ロータリー・クラブ

【R.I. 会長】
ジョン・ジャーム
【R.I. 2780地区ガバナー】
佐野 英之
【第9グループガバナー補佐】
高田 喜好

【会長】辻村 彰秀
【副会長】阿久津 馨
【幹事】櫻井 康二
【副幹事】荻野 善明
【会場監督】小川 和夫

人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

本日の例会：通常例会（第1957回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年11月15日 12：30～13：30
司会：荻野 善明 副幹事

12：30	開会点鐘：辻村 彰秀 会長 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	卓話：僧侶 レオ様 「僕がお坊さんになるまで」
13：30	閉会点鐘：辻村 彰秀 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 11月22日（火）通常例会 12：30**
クラブフォーラム：R財団
- 11月29日（火）通常例会 12：30**
卓話：吉本芸人 スベリー・マーキュリー様
「地元出身の吉本芸人として」
- 12月6日（火）通常例会 12：30**
クラブ協議会（年次総会）
- 12月13日（火）忘年家族会（夜間）**
会場：大磯迎賓館
受付：17：00～17：30
例会：17：30～18：00
宴会：18：00～20：00
会費：R会員 10,000円
R家族 8,000円
Rアクト 8,000円
- 12月20日（火）通常例会 12：30**
卓話：フリーアナウンサー 石田 江利様
「私がアナウンサーになったきっかけ」
- 12月27日（火）休会**

寄稿

ロータリークラブの例会のはじめには、必ず点鐘します。このように鐘を鳴らすのは、どのような意味があるのでしょうか。私達は朝起きて食事の前に仏壇にひざまづいて、お線香をあげながら、やはり鐘を鳴らします。また神棚の前では、水を取り替えた後に、やはり二礼二拍手一礼と、ここでもかしわ手を打って音を出します。

世界中の宗教や行事には、鐘またはベルの音が存在します。四国八十八カ所巡りのお遍路さんは鈴を振りつつ巡礼します。なぜこのように鐘や鈴を鳴らすのでしょうか。これは「悪魔を祓うためです。」「音が空気をきれいに浄化します。」「遠くまで音が伝わっていくからです。」などの理由からでしょう。

音が空気中を波打って広がりますが、その伝わってゆくときに、空気中の何かが変わるのでしょうか。夏につきものの雷のすさまじい音が通りすぎますと、まわりの空気が本当にきれいになるような気がします。稲妻だけではそうはいきません。雷がたくさん鳴る地方でできる米はとても美味しいと言われていました。まさに稲妻です。

鐘や鈴の音が人間にどのような働きかけをしているのか、まだまだ深い謎に包まれているようですが、音（音楽）が人間の生活に果たす役割には、あなどれないものがあります。

ロータリークラブの例会場での点鐘は、私達に厳粛なエネルギーを与えてくれますね。

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年11月8日 12:30～13:30

◆ 会長挨拶



辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは！先週の例会をお休みとしたので、2週間ぶりの例会です。この間に、誠に残念な出来事が起こってしまいました。皆さんもご存知と思いますが、10月28日金曜日に当クラブ会員の河野秀雄さんが突然お亡くなりになりました。その週の10月25日の例会には、お元気にいらして歓談していた姿からはまったく想像もできないことで、皆さんも驚かれ、呆然となされたことと思われます。11月4日のお通夜、5日の告別式と、たくさんの会員の皆さんが参加してくださり、会長として御礼申し上げます。

河野さんは小田原城北ロータリークラブに、1986年に45歳で入会されました。以来30年間の長きに亘り、理事、委員長を歴任され、当クラブを支えて下さった大黒柱でした。2000～1年にはクラブ会長をなされ、その後、9年間地区に出向されました。その間の2005～6年には第9グループガバナー補佐の重責を果たされました。クラブのみではなく、地区においても活躍していただいております。又、寄付についても、ベネファクターであり、マルチプル・ポール・ハリス・フェローは6回、米山功労者7回と、多大なる貢献をロータリークラブになさっておられました。例会時の各テーブルに置かれているお花は、例会の雰囲気が良いようにとの思いで、河野さんが、長年にわたり、ご好意にて毎回提供していただき、当クラブの繁栄発展を心から望まれておられました。

又、あまりにも急な訃報で遺族の方々の悲嘆は測りしえないものです。特にいつもご一緒だった奥様のお気持ちを考えると、悲しいばかりです。

河野さんの思いを忘れずに、又、河野さんの期待に応えるためには、よりよきクラブ、より楽しいクラブを目指していく事が私たちの責務と考えております。

河野さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

本日の卓話は、DMOの中嶋順様です。DMOとは“Destination Management /Marketing Organization”を略したもので、「地域の観光マネジメント、マーケティングを地域主導にて一体的に行う組織」という意味とっております。従来各自自治体が行っていた観光振興を、官だけではなく、地域の民官企業を巻き込んで、明確なマネジメント、マーケティングを行い、魅力的な観光地づくりを行う法人の事です。この小田原、箱根地区、ひいてはこの県西地区には、今後とても重要な組織となると思っております。子細については中嶋様の卓話を楽しんで最後までお聞きください。

以上、本日の会長挨拶でした

◆ 幹事報告



櫻井 康二 幹事

- 1)本日、第5回定例理事会が開催され、下記の内容が承認されました。
 - ・お月見例会決算の件
 - ・忘年家族会スケジュール及び予算書の件
 - ・新年例会スケジュール及び予算書の件
 - ・クラブ協議会（年次総会式次）の件
- 2)活動計画書のカレンダー訂正がございました。
 - ・3月7日 卓話→定例理事会 卓話
 - ・3月14日 定例理事会 卓話→夜間例会（お花見例会）に訂正して下さい。宜しくお願いします。

◆ 委員会報告

職業奉仕委員会 守屋委員長

本日18時より「食の壺」にて委員会を開催させていただきます。委員の皆様、よろしくお願いたします。

直前会長 木村会員

歴代会長会のご案内です。会長経験者の方にはご連絡してありますが、11/22（火）18時から「だるま」で行います。出欠は11/15までに事務局か私までお申し出ください。ぜひご参加いただくようお願いいたします。

◆ 出席報告

齋藤 永 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
11月8日	38(36)	29	0	80.56%
10月25日	39(36)	25	2	75%
10月18日	39(36)	27	0	75%

【欠席者】7名
木村 啓滋、大川 裕、長田 英一、大木 清、大野 英明、大高 英之、内山 昇

【今回MU】なし
【前回MU】増加なし
【前々回MU】増加なし

◆ Table flower

- レッドジェムメラリウカ
- フリージア
- ババリア
- ストックカルテット

【花言葉】
フリージア：「親愛の情」
ババリア：「親交」
ストック：「永遠の美」



◆ 卓話



かながわ西観光コンベンション・ビューロー 専務理事・中嶋 順 様

以前、地産地消推進の件でお話しさせていただいたのが3年前くらいだったと思います。今回は各地で動きのあるDMOを、県西2市8町で6月に立ち上げた話をさせていただきます。私は星の王子さまミュージアムの営業担当から、10年前に箱根プロモーションフォーラムを作って、箱根にいかにお客様を増やすかに取り組んできました。最近では小田原でもプロモーションフォーラムを作って、小田原水レモンバルという飲み歩きのイベントをやらせてもらいました。箱根町では誘客宣伝委員会ということで、箱根町観光協会の委員長をやっています。昨年は大涌谷の事象で箱根は大変厳しい状況となり、色々な問題を突き付けられた一年でした。その中で2市8町をベースにした観光協会同士の連携を期待したのですが、実際は事務局同士の話し合いもなかったのが現状です。地域連携を考えた時にちょうどDMOの話が来たのです。DMOとは『Destination Management Organization』で、直訳すると『目的地をマネージメント・マーケティングする組織』になります。地域にある自然・食・芸術、いろいろな資源を単発でなく地域と連動しながら複合的に情報配信し、まとめていこうという組織です。あとはマーケティング=市場調査をしながら観光地の経営・地域の稼ぐ力について考えようというコンセプトとなっています。

この政策を日本版DMOということで官公庁が進めています。今までの観光地は色々な団体がそれぞれでイベントや政策を決めていました。情報をまとめるもの、データの収集と分析が不十分だったのではないのでしょうか。例えば名古屋でチラシをまく、何故名古屋なのか？誰に対してチラシをまくのか？といった結果はどうだったのか？その分析もしないまま行っているのが現状でした。同じことを継続してやるには、結果・成果を出さなくてはなりません。観光客にどう売って、どうプロモーションして、どう来させるか。地域の色々な組織を巻き込みつつ科学的アプローチを取り入れ、DMOが舵取り役をやるわけです。

商工業、交通事業者、地域住民・行政、飲食店、農林漁業、宿泊施設など、単発でやっているものの情報を収集するのがDMOの基本です。そして共有したものをどう使ってどこへ配信していくか、どんな観光地作りができるかに取り組んでいます。これに対して国からの補助や支援が得られる枠組みができます。現在は県西の枠組みで、行政的にどんな支援情報があるのか、どんなことに困っているか聞きながら民間と行政で月に一度例会を開いています。実際に箱根へ外国人がどれだけ増えているのか、どこから来ているのか、今はデータ取りをしている状況です。

DMOには広域連携DMO（県を跨ぐような組織）地域連携DMO（複数の自治体の組織）地域DMO（1市・町の中で作る組織）の3種類があります。我々が今やっているのは地域連携DMOとなります。現在では箱根町観光協会や小田原観光協会も地域DMOを作ろうと進めています。元々この組織の発端は、小田原市企画課が行っていた「東京オリンピックパラリンピック神奈川県西西部連絡会」です。2015年くらいから何回か会議を開いていましたが、行政主体だと行動に移しづらいところがありました。結果を受けて行動に進める組織が必要だと、「かながわ西観光コンベンション・ビューロー」として一般社団法人が作られました。

構成メンバーは2市8町の観光協会、商工会議所、オリンピックパラリンピック準備委員会などです。その方たちに理事になってもらい、情報共有から始めています。DMOはまず目標を設定しなくてはなりません。実際の観光入込数を調べてみると相当数の外国人観光客が神奈川西部を訪れていることとなります。しかし観光入込数は定かなものではなくて、例えばロープウェイに乗った人が観光船に乗ると2カウントになってしまいます。1人が数倍になり、実数ではないことが漸く分かってきました。県でも国でも観光入込数がベースになっていますので、実態は分かっていない訳です。2020年までにどれくらいの数字を目標にしないといけないのか？達成するためにどんな政策を立ててどういうことをやっていったらいいか？を今後考えていくこととなります。

それぞれの役割分担としては、民間企業は関連サービスをつけるとか、行政はインフラ整備や支援情報をとく、団体では各団体がやっていることを共同情報配信としてまとめるなどがあります。1つのポスターで2つのイベントを紹介するなど考えています。組織概要についてはマーケティングのデータを取っているところです。弱いところ強いところを協議しながらKPI（重要業績評価指標）を決めていくつもりです。6月に発足したばかりなので、今はベースとなるマーケティングの数字を調べている状況です。これからは、神奈川西ブランドを築く必要があります。WEBによる情報配信と情報誌作成、プロモーション動画作成などを企画しています。

現在参加メンバーはエリア外・市町村含めて38です。月1回例会を持ち、意見交換しながら最善の道を探しています。代表理事は古川達高さん、理事メンバーは商工会議所会頭やFMおだわら社長、ういろうさんなどで、今後どういう戦略を打っていくか理事会で決めながら、部会を3つ作って色々活動していく予定です。ブランドイメージを構築、コンテンツを作成して、各メディアや旅行代理店、エージェントなどに売っていく。そして海外へも情報配信していく。1市町ではなく連携してのプロモーションを考えていきます。エリア情報の収集と共有と配信が一番難しいと思います。イベントは毎週のようにあるけれど、まとまっていないのが実情です。情報を集めるシステムがないので、地域のイベントをどう把握するかが課題です。今は手作業で集めていますが、秋のイベントだけでも多数あり大きな観光資源だと思います。それを世に広めていくのが我々の仕事です。先日小田原駅で外国人の方へアンケートを取らせていただきました。メキシコ、マレーシア、ポーランド、オーストラリア…わずか1時間で25か国くらいの方が小田原駅に来ていて、皆さん箱根に向かわれるようでした。乗換駅の小田原に寄ってもらうために、現場アンケートで見えてくるデータが重要になると思います。何を求めているか、どこに行くのか、幾らくらい使うのか、何日滞在するのか、実態調査をしました。14日くらい滞在して京都や北海道へ行ったり、長期の中で立ち寄ってくれている人が多いようでした。今後より多くのアンケートを取りながら考えていきたいです。

現在会員を募集しています。情報共有をしてお互い知らない街のことを知り、このエリアの魅力、さらにエリアでどう売っていくかを考えていきませんか？食や伝統工芸の自慢を共有し、皆さんと共に観光をプロモーションしていくつもりです。大きな枠組みで一緒に活動していきましょう。

